

世界の「AIOIYAMA」プロジェクト意見交換会（第2回）の開催報告

1. 日 時：令和元年7月18日（木）19時05分～21時15分
2. 場 所：相生コミュニティセンター 集会室1・2
3. 団 体 名：○相生学区にお住まいで意見交換を希望した皆様、
相生山緑地内道路早期完成協議会、
その他市内にお住まいで意見交換を希望した個人の皆様
4. 市出席者：●緑政土木局企画経理課 上杉主査（企画）
道路維持課 水谷主査（安全対策）
道路建設課 山中課長、可児主査（事業調整）
緑地事業課 中村緑地計画係長
5. 参 加 者：約70名
6. 当日の次第
 - （1）開会のあいさつ
 - （2）資料説明
 - ・世界の「AIOIYAMA」プロジェクト意見交換会 主な意見と回答【資料①】
 - （3）今後の意見交換会の進め方
 - （4）閉会のあいさつ
7. 意見交換会 主な意見と回答に関する主なご意見・ご要望
（道路建設について）
 - 道路廃止としているが、あと2割で完成していたものを、簡単に廃止できるものなのか。
 - 都市計画道路の廃止は簡単にできるものではない。都市計画道路廃止は都市計画審議会にて審議する必要がある、都市計画審議会に諮るには市民の理解を得る必要があると考えている。
 - 学術検証委員会の報告では、ヒメボタルは死滅しないと聞いている。市の見解はどうなのか。
 - 学術検証に関する報告書では、道路整備のメリットデメリット双方が列挙されているが、ヒメボタルの絶滅について明確に結論を出していない。
 - 道路建設時にも専門家を交えて建設に入り、道路工事を中止した時も、また専門家の検証を行った。なぜ同じことを何度も行うのか。
 - 学術検証は、市長が立ち止まって考えるとした時の判断材料として行った。
 - 自分は道路を作ってほしいが、道路を作るか、作らないかはっきりしてほしい。

いつ、明確な回答がもらえるのか。

- 名古屋市の方針として、平成 26 年 12 月に市長から「道路は作らない」と発表している。但し、様々なご意見があることから、現時点において都市計画道路の廃止には至っていない。
- 都市計画道路廃止の判断は民意に重きを置くというようなことだった。都市計画道路について、住民投票を行うと地域が分断されるかもしれないとのことだったが、まず、住民投票をやるかどうかを、地域住民に諮ってはどうか。
- 住民意向の調査については、平成25年度に市議会で「弥富相生山線の住民意向の調査については、地域の亀裂が入ったり、対立が生じるような手法はとらないこと。弥富相生山線の建設工事については、市民に責任を押し付けることなく、市長の責任で決定をすること。」という採択がされている。
- 税金を投入して作った道路の工事を中止したことに、市は責任を取っていない。
- もし道路事業を廃止するのであれば、つくったものを撤去してほしい。
- 近隣の住民を大事にしてほしい。
- 山根学区で子供の登下校の見守り隊をしているが、入り込む車があり危ない。子供の交通事故が何件か起こっており、早く道路を開通してほしい。
- 問題は道路を造るか造らないかなので、緑地に問題を付替えないでほしい。

(緑地計画について)

- 相生山緑地が都市計画で定められた公園であることを知らなかった。
- 昭和 15 年に都市計画決定されており、現地掲示と、計画決定についての縦覧図書を閲覧できるようになっている。また、都市計画緑地区域内の土地を購入する場合は、その旨を購入者に説明することが、不動産取引の重要事項説明となっている。
- 誰もが入れる公園になると、夜間に中高生のたまり場になるなど、防犯上の不安がある。
- 防犯対策については、夜間のたまり場にならないように、あえて公園灯を設置しないことや、外周フェンスを設置して公園の入口を限定することなどが考えられる。今後の意見交換会で、意見を伺いながら検討していきたい。
- 「世界の AIOIYAMA」というのなら、本当に世界に誇れるような緑地にするための展望を示してほしい。

(その他)

- 相生山緑地内には 120 世帯が住んでいるが、今は老人ばかりになっており、移転は難しい。
- 意見交換会が現地では、このような意見交換をするのが難しく、市から一方的な説明で終わってしまうのではないか。